

運用報告書（全体版）

第4期

決算日 2015年8月24日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券
設定日	2013年8月28日
信託期間	2013年8月28日～2023年8月22日（約10年）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、本邦通貨建ての公社債および短期金融商品等に実質的に投資を行い、利息等収入の確保を図ります。
主要運用対象	タフ・アメリカ（マネーパールファンド） ・マネー・マネジメント・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 マネー・マネジメント・マザーファンド ・本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
投資制限	タフ・アメリカ（マネーパールファンド） ・株式への実質投資は行いません。 ・外貨建資産への実質投資は行いません。 マネー・マネジメント・マザーファンド ・株式への投資は行いません。 ・外貨建資産への投資は行いません。 ・デリバティブ取引（有価証券先物取引等、スワップ取引、金利先渡取引をいいます。）の利用はヘッジ目的に限定しません。
配分方針	毎年2月、8月の22日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 *分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

タフ・アメリカ （マネーパールファンド）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「タフ・アメリカ（マネーパールファンド）」は、去る2015年8月24日に第4期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ファンドの内容、運用状況に関する情報などを
ホームページでご覧いただけます。

<http://www.daiwasbi.co.jp/>

また、お電話でも承っております。

ディスクロージャー部 ☎ 0120-286104

受付時間は、毎営業日の午前9時から午後5時までです。

※お客様の取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率		
(設定日) 2013年8月28日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 1
第1期(2014年2月24日)	10,003	0	0.0	77.8	1
第2期(2014年8月22日)	10,003	0	0.0	69.0	1
第3期(2015年2月23日)	10,002	0	△ 0.0	68.9	2
第4期(2015年8月24日)	10,002	0	0.0	79.7	2

*当ファンドは、安定した収益の確保を図ることを目的とした運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

当期中の基準価額等の推移

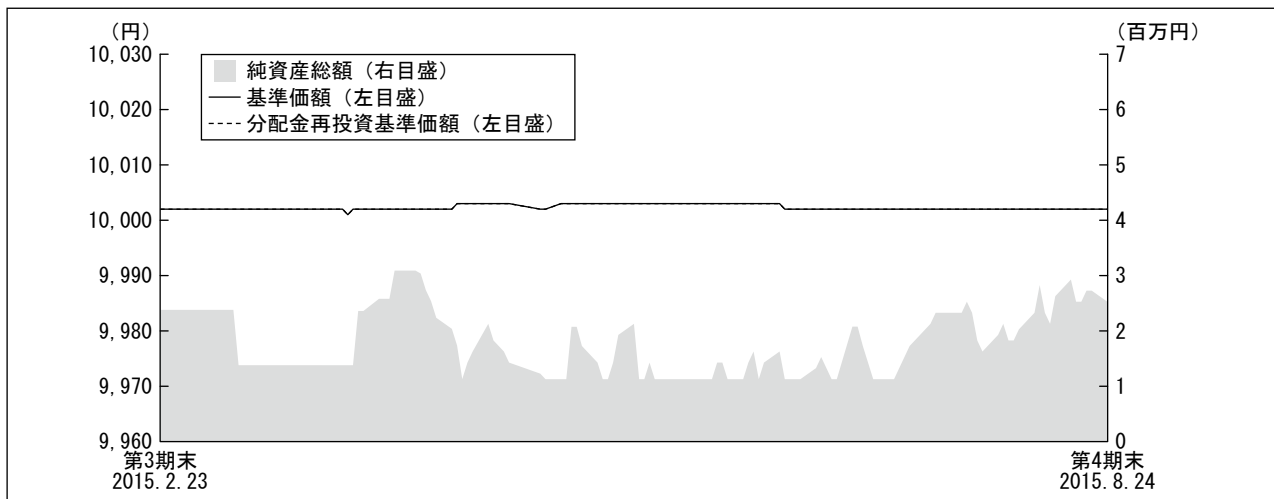
年月日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
(期首) 2015年2月23日	円 10,002	% —	% 68.9
2月末	10,002	0.0	68.8
3月末	10,001	△ 0.0	70.0
4月末	10,003	0.0	85.4
5月末	10,003	0.0	97.0
6月末	10,002	0.0	76.5
7月末	10,002	0.0	84.3
(期末) 2015年8月24日	10,002	0.0	79.7

*騰落率は期首比です。

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドは、安定した収益の確保を図ることを目的とした運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

第4期首：10,002円

第4期末：10,002円（既払分配金 0円）

騰落率：0.0%（分配金再投資ベース）

【基準価額の変動要因】

当ファンドは、マネー・マネジメント・マザーファンドへの投資を通じて、本邦通貨建ての公社債および短期金融商品等を実質的に投資を行いました。

（上昇要因）

保有する債券のキャリーによる収益を確保したことが上昇要因となりました。

（下落要因）

信託報酬などのコストが下落要因となりました。

タフ・アメリカ（マネープールファンド）

【投資環境】

国内短期金融市場では、2月以降の短期金利は0%付近を安定的に推移する動きとなりました。5月以降は、欧米長期金利の上昇に伴い、日本の長期金利も上昇する局面となりましたが、短期金利への影響は見られませんでした。

【ポートフォリオ】

■タフ・アメリカ（マネープールファンド）

主要投資対象であるマネー・マネジメント・マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な公社債組入比率は79.7%としました。

■マネー・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債中心による運用を継続しました。年限に関しては、6ヵ月以内の短期の国債を中心とした運用を継続しました。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドは、安定した収益の確保を図ることを目的とした運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

【分配金】

収益分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせて頂きました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第4期	
	2015年2月24日 ～2015年8月24日	
当期分配金 (円)	0	
(対基準価額比率) (%)	0.00	
当期の収益 (円)	-	
当期の収益以外 (円)	-	
翌期繰越分配対象額 (円)	14	

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

タフ・アメリカ（マネープールファンド）

今後の運用方針

■タフ・アメリカ（マネープールファンド）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、本邦通貨建ての公社債および短期金融商品等を実質的に投資を行い、利息等収入の確保を図ります。

■マネー・マネジメント・マザーファンド

引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債を中心とした運用を行っていきます。日本銀行による金融緩和政策が続き、短期金利の上昇リスクは限定的と予想します。平均残存年限については2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2015年2月24日～2015年8月24日		
	金額	比率	
信託報酬	2円	0.018%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,002円です。
（投信会社）	(1)	(0.008)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(1)	(0.010)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
合計	2	0.018	

* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 円未満は四捨五入しています。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

（2015年2月24日から2015年8月24日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネー・マネジメント・マザーファンド	千口 11,994	千円 12,006	千口 11,648	千円 11,659

タフ・アメリカ（マネープールファンド）

利害関係人との取引状況等

（2015年2月24日から2015年8月24日まで）

<タフ・アメリカ（マネープールファンド）>

■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

<マネー・マネジメント・マザーファンド>

■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

自社による当ファンドの設定・解約状況

（2015年2月24日から2015年8月24日まで）

期首残高（元本）	当期設定元本	当期解約元本	期末残高（元本）	取引の理由
百万円 1	百万円 —	百万円 —	百万円 1	当初設定時における取得

組入資産の明細

2015年8月24日現在

■親投資信託残高

	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・マネジメント・マザーファンド	千口 2,378	千口 2,724	千円 2,727

タフ・アメリカ（マネープールファンド）

<補足情報>

マネー・マネジメント・マザーファンドにおける組入資産の明細

下記は、マネー・マネジメント・マザーファンド全体（54,155千口）の内容です。

■ 公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	2015年8月24日現在						
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 40,000 (-)	千円 40,008 (-)	% 73.8 (-)	% — (-)	% — (-)	% — (-)	% 73.8 (-)
合 計	40,000 (-)	40,008 (-)	73.8 (-)	— (-)	— (-)	— (-)	73.8 (-)

* () 内は、非上場債で内書き

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

銘 柄	2015年8月24日現在			
	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
(国債証券)	%	千円	千円	
332 2年国債	0.1000	10,000	10,000	2015/09/15
333 2年国債	0.1000	10,000	10,001	2015/10/15
335 2年国債	0.1000	10,000	10,003	2015/12/15
336 2年国債	0.1000	10,000	10,003	2016/01/15
合 計	—	40,000	40,008	—

投資信託財産の構成

2015年8月24日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
マネー・マネジメント・マザーファンド	千円 2,727	% 100.0
投資信託財産総額	2,727	100.0

タフ・アメリカ（マネープールファンド）

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2015年8月24日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,727,678円
マネー・マネジメント・マザーファンド(評価額)	2,727,678
(B) 負 債	200,289
未 払 解 約 金	199,999
未 払 信 託 報 酬	290
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	2,527,389
元 本	2,526,942
次 期 繰 越 損 益 金	447
(D) 受 益 権 総 口 数	2,526,942口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C / D)	10,002円

* 元本状況

期首元本額	2,379,650円
期中追加設定元本額	12,003,706円
期中一部解約元本額	11,856,414円

損益の状況

自2015年2月24日
至2015年8月24日

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	225円
売 買 損 益	138
売 買 損 益	87
(B) 信 託 報 酬	△ 290
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	△ 65
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	1
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	511
(配 当 等 相 当 額)	(2,780)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,269)
(F) 計 (C + D + E)	447
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	447
追 加 信 託 差 損 益 金	511
(配 当 等 相 当 額)	(3,011)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,500)
分 配 準 備 積 立 金	580
繰 越 損 益 金	△ 644

* 有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

* 信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

* 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

< 分配金の計算過程 >

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

(A) 配 当 等 収 益 (費用控除後)	577円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
(C) 収 益 調 整 金	3,011
(D) 分 配 準 備 積 立 金	3
分 配 可 能 額 (A + B + C + D)	3,591
(1 万 口 当 り 分 配 可 能 額)	(14.21)
収 益 分 配 金	0
(1 万 口 当 り 収 益 分 配 金)	(0)

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

マネー・マネジメント・マザーファンド

運用報告書

決算日：2015年7月27日

(第2期：2014年7月26日～2015年7月27日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none">・株式への投資は行いません。・外貨建資産への投資は行いません。・デリバティブ取引（有価証券先物取引等、スワップ取引、金利先渡取引をいいます。）の利用はヘッジ目的に限定しません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

<http://www.daiwasbi.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		公 社 債 率 組 入 比	純 資 産 額 総
		期 騰 落	中 率		
(設 定 日) 2013年 6 月 3 日	円 10,000		% —	% —	百万円 102
第 1 期 (2014年 7 月25日)	10,008		0.1	76.1	26
第 2 期 (2015年 7 月27日)	10,010		0.0	74.4	53

*当ファンドは、安定した収益の確保を目的とした運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率 組 入 比
		騰 落	率	
(期 首) 2014年 7 月25日	円 10,008		% —	% 76.1
7 月末	10,008		0.0	76.1
8 月末	10,008		0.0	68.7
9 月末	10,008		0.0	68.6
10 月末	10,008		0.0	68.7
11 月末	10,009		0.0	68.6
12 月末	10,009		0.0	70.4
2015年 1 月末	10,009		0.0	69.8
2 月末	10,009		0.0	68.8
3 月末	10,008		0.0	70.0
4 月末	10,010		0.0	76.1
5 月末	10,010		0.0	76.6
6 月末	10,010		0.0	76.5
(期 末) 2015年 7 月27日	10,010		0.0	74.4

*騰落率は期首比です。

運用経過

【基準価額等の推移】

期首：10,008円

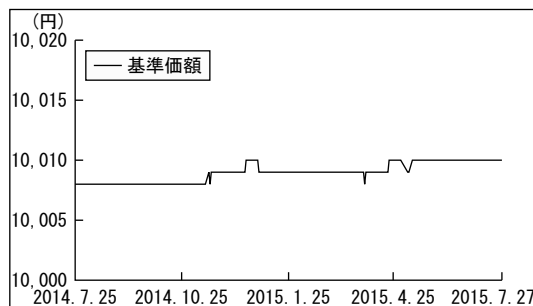
期末：10,010円

騰落率：+0.0%

【基準価額の主な変動要因】

(上昇要因)

主に保有債券のキャリー収益が上昇要因となりました。



【投資環境】

国内短期金融市場では、2014年10月以降、日本銀行の短期国債買入れオペでの札割れなど、需給ひっ迫を背景に短期金利の低下ペースが加速したほか、日本銀行の追加緩和発表がサプライズとなったことなどを受けて、短期金利はマイナス圏へ大きく下振れる展開となりました。2015年の年明け以降も欧州での量的緩和導入の観測や日本銀行の超過準備預金への付利引き下げ観測を材料に短期金利が下振れする局面もありましたが、その後は0%付近を推移する動きとなりました。5月以降は、欧米長期金利の上昇に伴い、日本の長期金利も上昇する展開となりましたが、短期金利への影響は見られませんでした。

【ポートフォリオ】

安全性と流動性を考慮し、短期の国債中心による運用を継続しました。年限に関しては、6ヵ月以内の短期の国債を中心とした運用を継続しました。

今後の運用方針

引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債を中心とした運用を行っていきます。日本銀行による金融緩和政策が続くため、短期金利の上昇リスクは限定的と予想します。平均残存年限については2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

1万口当りの費用明細

(2014年7月26日から2015年7月27日まで)

当期中に発生した費用はありません。

売買及び取引の状況

(2014年7月26日から2015年7月27日まで)

■公社債

		買付額	売付額
国	内 国債証券	千円 90,041	千円 — (70,000)

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

*（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

主要な売買銘柄

(2014年7月26日から2015年7月27日まで)

■公社債

		当期	
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
329 2年国債	10,012	—	—
336 2年国債	10,008		
335 2年国債	10,007		
332 2年国債	10,007		
326 2年国債	10,003		
333 2年国債	10,003		
482 国庫短期証券	9,999		
496 国庫短期証券	9,999		
469 国庫短期証券	9,999		

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

利害関係人との取引状況等

(2014年7月26日から2015年7月27日まで)

■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

組入資産の明細

2015年7月27日現在

■ 公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当		期		末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国 債 証 券	千円 40,000 (-)	千円 40,011 (-)	% 74.4 (-)	% - (-)	% - (-)	% - (-)	% 74.4 (-)
合 計	40,000 (-)	40,011 (-)	74.4 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	74.4 (-)

* () 内は、非上場債で内書き

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

銘 柄	当		期		末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
(国債証券)	%	千円	千円		
332 2年国債	0.1000	10,000	10,001	2015/09/15	
333 2年国債	0.1000	10,000	10,002	2015/10/15	
335 2年国債	0.1000	10,000	10,003	2015/12/15	
336 2年国債	0.1000	10,000	10,004	2016/01/15	
合 計	-	40,000	40,011	-	

投資信託財産の構成

2015年7月27日現在

項 目	当		期		末
	評 価 額	比 率			
公 社 債	千円	%			
40,011	74.4				
コール・ローン等、その他	13,797	25.6			
投資信託財産総額	53,809	100.0			

マネー・マネジメント・マザーファンド

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2015年7月27日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	53,809,355円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	13,789,673
公 社 債 (評価額)	40,011,800
未 収 利 息	6,156
前 払 費 用	1,726
(B) 純 資 産 総 額 (A)	53,809,355
元 本	53,756,218
次 期 繰 越 損 益 金	53,137
(C) 受 益 権 総 口 数	53,756,218口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (B/C)	10,010円

* 元本状況

期首元本額	26,252,307円
期中追加設定元本額	41,890,056円
期中一部解約元本額	14,386,145円

* 元本の内訳

北米シェール関連株ファンド	17,570,717円
タフ・アメリカ (マネーボールファンド)	2,325,344円
米国小型株ツインα (毎月分配型)	552,681円
米国小型株ツインα (資産成長型)	71,698円
日本株アルファ・カルテット (毎月分配型)	1,998,801円
欧州株ツインα (毎月分配型)	13,111円
欧州株ツインα (資産成長型)	96円
NBマルチ・ストラテジー・ファンド (ダイワSMA専用)	2,699,766円
NBハイクオリティ・マネジャーズ・ファンド (部分為替ヘッジあり) - 予想分配金提示型-	89,929円
NBハイクオリティ・マネジャーズ・ファンド (為替ヘッジなし) - 予想分配金提示型-	9,993円
米国リバーサル戦略ツインαネオ (毎月分配型)	26,385,980円
米国リート厳選ファンド (毎月決算型)	249,776円
米国リート厳選ファンド (資産成長型)	249,776円
米国株アルファ・カルテット (毎月分配型)	799,281円
米国株厳選ファンド・米ドルコース	9,992円
米国株厳選ファンド・ブラジルリアルコース	9,992円
米国株厳選ファンド・豪ドルコース	9,992円
米国株厳選ファンド・高金利通貨コース	9,992円
米国リート・アルファ・カルテット (毎月分配型)	699,301円

損益の状況

自2014年7月26日
至2015年7月27日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	40,194円
受 取 利 息	40,194
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△31,369
売 買 益	30
売 買 損	△31,399
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	8,825
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	19,735
(E) 解 約 差 損 益 金	△13,573
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	38,150
(G) 計 (C+D+E+F)	53,137
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	53,137

* 有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

* 解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

* 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

お知らせ

- ◆デリバティブ取引に係るリスク管理方法の記載を行いました。(2014年12月1日付)
- ◆書面決議手続きの緩和に関する所要の変更を行いました。(2014年12月1日付)
- ◆運用報告書の交付に関する所要の約款変更を行いました。(2014年12月1日および2014年12月26日付)

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。



世界に通用する質の高い
資産運用会社を目指します